

## 日常の1コマから見える私たちの教育活動

立春を過ぎても寒い日が続き、朝の校庭に出る時も気合を入れないと寒さに心がくじけそうになります。でも、少しずつ季節は春に向かっていて、数日前まではかなりの部分が視覚支援学校さんの校舎の影になっていた朝の校庭にも、写真のように光がさすようになってきました。

そんな太陽の光に誘われるように、今朝も校庭から子どもたちの歓声が途絶えることはありませんでした。昨日三重県の亀山市教育委員会の皆様が本校を視察に訪れ、6年2組と5年2組の授業を参観していただきました。案内していた教頭先生に伺ったところ、とにかく落ち着いて学習に取り組む子どもたちの様子に大変驚かれていた、とのことでした。



もちろん私たちの学校では普段通りの教育活動です。日常の1コマではありますが、朝に思いっきり遊んだり、年間を通して合唱活動に取り組んだり、喧々諤々校内研究に本気で取り組んでいることが、いかに教育的な効果が高いかをその1コマが実証しているように思えます。

さて、来週から阿部先生と佐山先生が1週間の「ハワイ語学研修」に出発します。

何ともスケールの大きな話です。宮城教育大学ではハワイ大学との交流が盛んで、相互訪問をこれまでも繰り返してきました。先日この研修の事前打合わせ会に同席し、その概要を教えてくださいることができました。

当たり前ですがハワイは暑いようです。また、ホテルはワイキキビーチの近くにあるようです。自主的にハワイで研修を深めるには絶好の位置にあることも分かりました。また最終日にはフォーマルパーティも準備されているのですが、所謂日本式の正装はNGで、襟のあるシャツ程度のものの着用を勧められました。さらには「Tシャツ」も必需品で、そこに表されているメッセージが大事なコミュニケーションツールになる、とのことでした。大学や小学校をはじめ多くの教育機関の訪問も予定されているので、それらの視察の様子についても後日報告してもらおうのがとても楽しみです。

ハワイの語学研修の機会と簡単に言いますが、これも附属学校ならでのことです。あまり知られていませんが、教職大学院への派遣をはじめ、中央研修、東北大学の夏季セミナー、県外附属学校の視察など、附属の先生方は公立の先生方より研修や視察の機会には大変恵まれています。

スケール大きなことと言えば、大学の協力で、ノーベル平和賞を受賞した IPCC のパウチャリ議長を本校にお招きして、5年生の総合の時間に講演していただく計画も進んでいます。

大学がいかに附属学校を大切に思っているか、改めて感じる機会となりました。

(文責：副校長 手代木)